



自由民主党茨城県第三選挙区支部ニュース

TXの東京駅延伸はこの数年間が勝負 ～つくば・守谷・東京駅・豊洲・羽田 を結ぶ構想の実現へ



衆議院議員 葉梨康弘



守谷市発展の鍵となるつくばエクスプレス (TX) の輸送力増強

2005年開業のTXの輸送力増強は、守谷の発展に不可欠です。

2018年にTX利用建設促進議員連盟 (TX議連) の会長に就任した葉梨康弘は、松丸・守谷市長をはじめ沿線自治体首長と連携して首都圏新都市鉄道株式会社への要請を行い、現在の6両編成を8両編成化するためのホーム延伸工事实施の約束を取り付けました。

そして、もう1つの課題が、現在秋葉原駅止まりとなっているTXの東京駅延伸です。

東京駅延伸への課題

1985年の運輸政策審議会答申で、東京駅とつくばを結ぶ鉄道と位置づけられたTXは、国が鉄道用地取得のための特別立法を行うなどの支援を行い、2005年、秋葉原駅とつくば駅の間が開業しました。

そして、事業費数千億円といわれる東京駅延伸のためには、次の課題があります。

- ①国の支援のとりつけ
- ②関係自治体の連携協力の確保 (TX会社は、東京、茨城、千葉、埼玉の自治体が、4 : 3 : 2 : 1の割合で出資)
- ③東京駅から先のネットワーク効果の創出

このうち、③については、2014年、「都心部・臨海新地下鉄構想」(東京駅と豊洲市場を結ぶ地下鉄、羽田空港への延伸も検討)が



TX議連

持ち上がったことを契機に、TX議連事務局長だった葉梨康弘が国交省や会田・守谷市長(当時)と相談し、2016年の交通政策審議会の答申に、TXと新地下鉄の接続の検討が盛り込まれました。

また、②についても、松丸・守谷市長の発案で、沿線自治体首長、TX会社と議連会長の葉梨康弘との意見交換会が行われてきました。

つくば、守谷、東京、豊洲と羽田を結ぶ構想が実現すれば、TX沿線自治体の利便性が飛躍的に向上するだけでなく、大災害時、首都東京のバックアップ機能を茨城県が担うことができるようになるなど、まさに国家的プロジェクトということができます。

2040年開業へ新地下鉄構想が具体化

その後、豊洲市場の移転延期やコロナ禍など紆余曲折がありました。2022年、東京都が新地下鉄の事業計画を策定、2024年春、整備主体と営業主体が決定、2040年の開業を目指すこととされました。

この間、葉梨康弘は、TX議連開催の都度、松丸・守谷市長ら沿線自治体首長から、東京駅延伸への要請を受け、これをバックとして、毎年秋、中央区で開催される新地下鉄の期成決起大会に出席してTXとの接続の重要性を訴えるとともに、国交省や東京都当局との協議を続け、東京駅延伸への環境整備に当たってきました。

新地下鉄構想の具体化を受け、葉梨康弘は、TX議連の活動をさらに強化していきます。



TX議連の要望



松丸修久・守谷市長と

2020年代の着工開始が必須

2040年というかなり先のように思えますが、地下40メートル以深の大深度地下に鉄道駅を建設するには、10年程度の工事期間が必要で、2020年代の着工が必須です。

今後数年間勝負

数千億円の事業費を要する東京駅延伸には、着工のかなり前に事業スキーム決めていく必要があります。

TX議連は、これまでの環境整備を踏まえ、関係自治体とともに、事業スキームの早期具体化に取り組みます。

まさにこの数年間勝負です。

松丸市政と2人3脚で

TXの東京駅延伸実現のチャンスをいかせなければ、守谷市の持続的発展に大きなマイナスとなります。

だからこそ、葉梨康弘は、松丸・守谷市長と2人3脚で、期成同盟会結成を目指す関係自治体との連携を深度化し、これまでの営みを加速化していきます。

衆議院議員 葉梨康弘プロフィール

略歴

1959年生 東京大学法学部卒

2003年衆議院初当選 現在6期目

現職

つくばエクスプレス利用建設促進議員連盟会長 自由民主党選挙対策委員長代理

自由民主党税制調査会副会長 自由民主党茨城県第3選挙区支部長

元職

法務大臣 農林水産副大臣 法務副大臣

発行：自由民主党茨城県第三選挙区支部

住所 茨城県取手市桑原1108

TEL 0297-74-1859 FAX 0297-74-1852

詳しい活動は次のアドレスからご覧ください。

<https://twitter.com/874ibaraki>

<https://www.hanashiyasuhiro.com/>

X(旧ツイッター)



ホームページ



LINE

